あさひが丘住宅の歴史

趣旨 高陽団地と同様。ただし、それほどデータ量はない。

(なお、残る虹山団地については、既に下記HPに掲載済) ※015-10緑井・あさひが丘・荒下・虹山〜広島市安佐南・北区〜広島県[写]-ダイエット遊記外伝増々築

URL=http://yanben.sakura.ne.jp/d-yuki/2024/06/59757

概要

中世

1598年 日裏山神社、現在地に移動 (伝)

(慶長3) [小史(説明板)]当初 源平合戦で敗れた平家の宗像岩見の守外19名がこの地に逃れて熊野権現として密かに祀る。

(1598(慶長3)年 この地に移転。当時は「後山権現」。 文武の神様として参詣者多数、流鏑馬も実施)

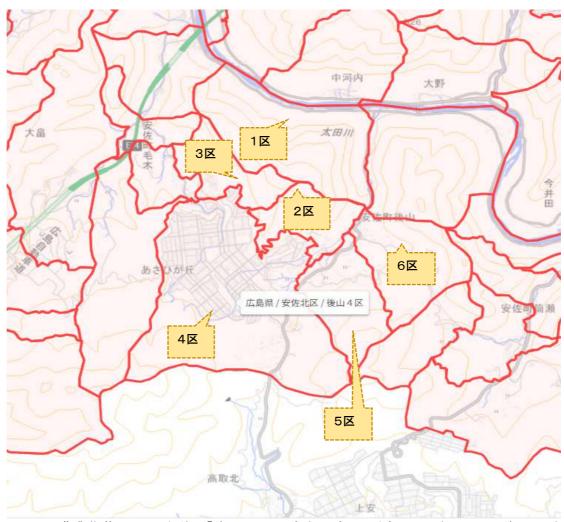
1871(明治3)年 日裏山神社に改名 1903(明治35)年 焼失後再建



日裏山頂(東の流鏑馬跡)からの眺望(∴概ね南西方向)「中央に荒谷山、左端に野登呂山。荒谷山の 背後、左に武田山、火山、右に窓ケ山、岳山、東郷山が展開しています」〔広島里山紀行〕



コース概念図[広島里山紀行]



農業集落としての名前は「後山」で、現・あさひが丘団地部は4区[Geoshape後山3区]

1889年 4/1沼田郡日浦村 : 町村制の施行により、沼田郡毛木村、後山村、宮野村、筒瀬村が合併し (明治22) て村制施行。旧村名を継承した毛木、後山、宮野、筒瀬の4大字を編成。〔wiki/日浦村〕



[Geoshape日浦村]

1898年 10/1安佐郡日浦村 :郡の統合により安佐郡に所属 [wiki/日浦村] (明治31)

昭和•戦後

1955年 3/31日浦村廃止 :安佐郡鈴張村、飯室村、小河内村、久地村と合併し、町制施行し安佐町を(昭和30) 新設 [wiki/日浦村]

1967年 農住都市構想の議論[佐藤]

(昭和42)

昭和42年,中西一郎は物価対策の一つの解決策として農地所有者が自らの土地を農業と高層住宅とを組み合わせた形で利用し、これによって農業に秩序を与えるとともに、農村地帯の所得の向上と都市生活者の住宅難を解決し、物価安定の一助にしようとした1)。

1)中西一郎:物価対策の問題点,農業協同組合,1967,7.

2)一楽照雄:近郊農村の村づくり一協同組合による農住都市の建設-,新生活特信,1968,2.

3) 一楽照雄:土地所有者である農協組合員による宅地造成および住宅建設の提案,日本経済新聞,1969,3. 4) そのほか同じようなものに安井七次全国農業協同組合中央会常務理事の「農協による宅地住宅の供給について」の提案や全中理事会における"農住都市建設運動の推進"の決議がどがある。 また、鬼丸勝之は、地価の高騰、スプロール化、高家賃高価格の住宅難などを解消するために、農民等の土地所有者による新しい住宅地の造成を行ない、共同ないし農協等に委託して住宅および関連諸施設を建設し、さらに、農協等に委託して住宅の経営およびその管理まで行なうことを主張した。そしてこの中で、農地を計画的に確保し、園芸農業等の都市近郊農業を育成して、住宅供給事業と調和のとれた都市づくりをすることが必要であるとした5)。

5)鬼丸勝之:農民等の土地所有者による新住宅団地建設 の構想について(試案),土地住宅総合研 究,1969,pp.62-64.

| 西厝 | 和曆 | 農住都市構想関連 | 制度、報告等 |
|------|-------|---|---|
| 1967 | 昭和42年 | 「物価対策の問題点」/中西一郎 →農村地帯の所得向上と都市の住宅難を解決しようとした | |
| 1968 | 昭和43年 | ・「近郊農村のむらづくり:新生活特信」/一楽照雄 →農住都市建設を取り上げる ・安井七次全国農業協同組合中央会常務理事 「農協による宅地住宅も供給について」 | ·新都市計画法制定(用途地域、市街化区域、開発許可) |
| 1969 | 昭和44年 | ・全中理事会「農住都市建設運動の推進」決議 ・農林省:農住都市建設構想 ・住宅宅地審議会にて賛同を得る ・農協による宅地住宅の供給について(安井全中常務理事) ・鬼丸参議院議員試案:農民等の土地所有者による新住宅団地建設の構想 | ・新都市計画法施行(用途地域、市街化区域、開発許可) ・建設省:公園住区開発構想(高山英華) ・緑農住区開発計画調査(横浜市、神戸市) 建設省住宅局:農林省農地局が共同調査 |
| 1970 | 昭和45年 | ・農林省: 農村住団地建設計画の推進に関する調査研究(3年、26地区) ・全国農住都市建設協会設立(農林大臣、建設大臣許可) ・県レベルの農住協会設立 | |
| 1971 | 昭和46年 | 愛知、神戸で建設開始 | ・農地所有者等賃貸受託建設融資利子補給時措置法の制定 |

表1 農住都市構想に関連する年表[佐伯ほか] ※農地関連列除く。

1969年 「農林省は昭和44年に農住都市建設構想を打ち出し,翌年から3か年にわたって農村住宅団地 (昭和44) 建設計画のモデル地区26地区6)を選定し,基本計画,権利調整,施行計画についての調査研究を 助成した7)。」「佐藤」

※原注6)江別市江別太,亀田市本通東山,仙台市中田,取手市新取手駅前,水海道市豊岡,栃木市大宮,太田市九合南部,川口市安行,君津市宮下,町田市真光寺広袴,川崎市西百合ケ丘,長野市若槻三島市加茂,静岡市高松,新潟市鳥屋野女池,愛知県東浦町緒川新田,久居市中町,加古川市友沢,奈良県三郷町立野,岡山市白石,広島県坂町坂本郷,広島県安佐町日浦,下関市勝山,香川県詫間町神田,北九州市曽根下貫,荒尾市荒尾の計26地区.

1971年 当時の安佐町農協が3,000世帯13,000人のまちづくりを目指して住宅都市建設を計画 (昭和46) [こむねっと]

1973年 起工式[こむねっと]

(昭和48)

1. 目的

農住組合制度は、農住組合法(昭和55年 法律第86号)に基づき、市街化区域内農地 の所有者等の主体的な取り組みにより、必 要に応じ当面の営農の継続を図りつつ、協 同で住宅地等の供給を推進することを目 的としている。

2. 概要

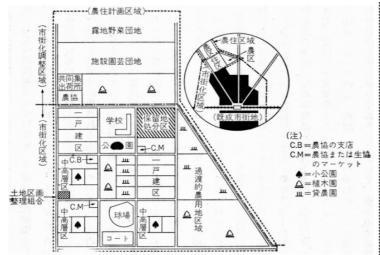
(1)組合の設立

組合の設立に当たっては、3人以上の市街 化区域内農地の所有者が発起人となり、 都道府県知事(政令指定都市及び中核市 の長を含む)の認可を経て設立される。 (略)

、5) (5)設立申請期限平成23年5月19日まで



昭和49年11月、後山西望、あさひが丘団地造成中。右日浦小 学校と谷筋に棚田が残る。〔ふるさと井口の歴史〕



農住構想は農協が中心に検討した構想であり、空間的な概念については、多く触れられていない。図1は、昭和45年に農政局農業協同組合課の2名が農住構想についてまとめ出版した文献に、「概念的な基本計画、特に土地利用計画を想定すれば図のようになる。」8)として掲載された農住計画区域に関する概念図である。いわば農住構想の基本理念が反映された計画図として捉えることができる。〔佐伯ほか〕

8) 鈴木伸八郎・小野寺義幸(1970)、農住 都市建設と改正農協法、pp.29、住宅 新報社

図1. 農住構想の概念図(資料:農住都市建設と改正農協法)

農住構想の推進にあたっては、同時期に緑農住区開発が検討されるなど、複数の主体が都市周縁農村の開発方法について検討を進め、複数の制度、事業が実施されたため、省庁間で足並みが揃わず効率的な開発推進とならなかった。

概念図から見るに、当初の農住構想は土地利用計画であったが、農住利子補給法は賃貸住宅の建設に要する資金の補給制度であったため、1棟での建設、共同申請による離散型の開発が行われるなど、図1に示した概念図とは異なる実態を生んだ。(略)

農住構想は壮大な計画であったが、農住構想そのものの実現については十分に評価できて いない。初期農住賃貸住宅が建設されて 40 年が過ぎており、全国にある農住団地も老朽化し ている。[佐伯ほか]

【大意】 早い時期に破綻した農協主導の住宅構想に、広島県は最速で反応してしまった上に、 抜本的改善を施すこともなくそのまま放置して現在に至っている。

1976年 竣工式、全国初の農住団地として創設〔こむねっと〕

(昭和51)

Q 「広島市安佐北区あさひが丘」が三十数年前に分譲されたてのとき、『動物園がとなりです~』というCMソングがあったことを信じてもらえません。(略)

A han************ 2012/4/22 23:24

私、知ってますよ♪ 友人も知っていて、たまに口ずさむことありますもん。確かにCMありました。

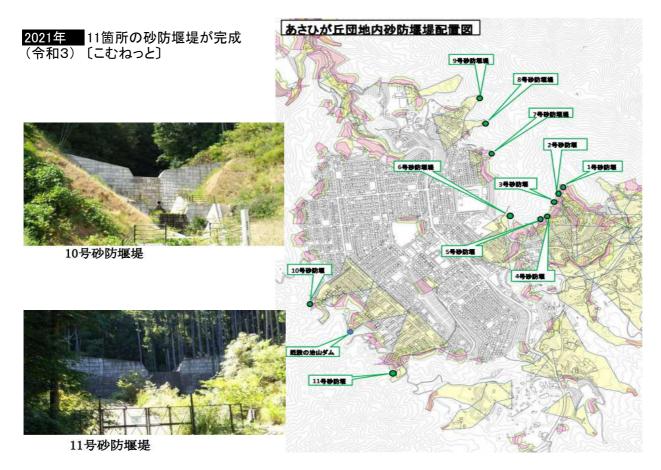
1987年 「昭和62年に発足したあさひが丘神楽団は、「振興団地の中に郷土芸能を」という取り組みの一(昭和62) 環としてスタートしました。古き伝統の旧舞、新しい時代の新舞を伝承し、神楽奉納をを通して神楽に息づく思いを後世へと伝えていけるよう、団員一同精進してまいります」[Dive! Hiroshima]

平成

令和

2020年 「22日午前8時ごろ、広島市安佐北区あさひが丘2丁目の民家の庭にクマが出没した。体長(令和2)約70~80センチで子グマとみられる。家の中にいた住民の男性(78)が、ガラス戸を揺さぶると逃げた。現場は民家が密集するあさひが丘団地で、その約40分後には約300メートル南の山際でも目撃された。けが人などは出ていない。」

「安佐北区農林課によると、同じ個体とみられるクマが午前8時40分ごろ、あさひが丘4丁目の山際の市道を横断しているのを、住民が目撃した。その後の目撃情報はないという。安佐北署員や市消防局員が一帯をパトロールし、日浦小の児童は教員の引率で一斉下校した。日浦中は、クラブ活動を中止し早めの下校を促した。」〔中国新聞〕



2021年 「空き家の所有者たちから活用方法や修繕に関する悩みを聞いて助言する『空き家相談員』の (令和3) 活動が始まった。」〔中国新聞〕

2024年 あさひが丘LMO(エルモ)設立 住所:広島市安佐北区あさひが丘3-18-13-11 広島市農協あ(令和6) さひが丘コープビル2階[同LMO]



※R7.7.4閲覧[あさひが丘LMO]

参考 資料 あさひが丘LMO

URL= https://asahigaoka-lmo.com/ あさひが丘団地内砂防堰堤配置図

URL= https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/asahigaoka/file/509

国土交通省/農住組合制度の概要

URL= https://www.mlit.go.jp/kisha/kisha04/03/031021/01.pdf こむねっとひろしま/あさひが丘連合自治会/あさひが丘について

URL= https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/asahigaoka/aboutAsahigaoka

佐伯亮太・松本邦彦・澤木昌典「農住都市構想による初期賃貸住宅に関する研究ー昭和46年 ※J-stage URL=https://www.jstage.jst.go.jp/article/cpijkansai/16/0/16_5/_article/-char/ja

佐藤俊雄「農住都市開発構想と農住団地建設についてー横浜市,木更津市,町田市を事例とし ※J-STAGE人文地理

URL=https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjhg1948/27/1/27_1_47/_article/-char/ja/

Geoshapeリポジトリ/後山3区 (3410602009) | 農業集落境界データセット

URL= https://geoshape.ex.nii.ac.jp/ma/resource/34106.html

Geoshapeリポジトリ/広島県安佐郡日浦村 (34B0050021) | 歴史的行政区域データ

URL= https://geoshape.ex.nii.ac.jp/city/resource/34B0050021.html

Dive!Hiroshima 特集/神楽の魅力を知ろう/あさひが丘神楽団(あさひがおかかぐらだん)

URL= https://dive-hiroshima.com/feature/kagura-asahigaoka/

中国新聞デジタル 住宅団地にクマ、民家の庭に出没 広島市安佐北区のあさひが丘

URL= https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/55814

中国新聞デジタル 広島市安佐北区のあさひが丘団地で「空き家相談員」始動 活用や修繕の助言役、自治会が派遣 2021/1/3

URL= https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/95415

広島里山紀行/日浦権現山

URL= https://hirosimasatoyamakikou.web.fc2.com/hirosima/22nen/hiuragongen/hiuragongenyama.html

ふるさと井口(いのくち)の歴史/昭和40年代広島のあちこち/あさひが丘団地開発

URL= http://www.megaegg.ne.jp/~dandan/tooldeegg/shop/book20071230093213sd28462 /20090303154208s08584.html

Yahoo!知恵袋 ton********* 2012/4/15 22:18

URL= https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1385686053